平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年７月25日

上 場 会 社 名　信越ポリマー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7970　　ＵＲＬ　http://www.shinpoly.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　赤澤　宏
問合せ先責任者　（役職名）経理グループマネジャー（氏名）　平澤秀明　（TEL）　03(5289)3716

四半期報告書提出予定日　平成24年８月10日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	15,003	△8.9	262	△60.1	315	△49.2	21	△92.9
24年３月期第１四半期	16,472	△8.1	657	△49.9	620	△47.7	300	△50.6

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　1,544百万円（23.4%）　24年３月期第１四半期1,251百万円（164.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	0.26	－
24年３月期第１四半期	3.69	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	81,340	61,928	75.0
24年３月期	81,017	60,749	73.9

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　61,001百万円　24年３月期　59,862百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	4.50	－	4.50	9.00
25年３月期	－				
25年３月期(予想)		4.50	－	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

平成25年３月期の配当予想につきましては、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、平成25年３月期の業績予想の算定に伴い、上記のとおり公表いたします。

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	31,000	△3.4	550	△26.0	600	△19.3	200	△39.2	2.46
通期	63,000	0.6	1,100	2.7	1,200	△3.9	400	31.6	4.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、合理的な算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の事業環境及び業績動向等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無
新規　　ー社　　（社名）　　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：有
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：有
④ 修正再表示 ：無
（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期１Ｑ	82,623,376株	24年３月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	1,337,989株	24年３月期	1,337,989株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期１Ｑ	81,285,387株	24年３月期１Ｑ	81,286,083株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・ 3

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・ 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 6
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・ 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に持ち直しの動きがみられました。一方、欧州の債務問題の影響による円高圧力が続き、また、新興国経済の減速など世界経済の先行き不透明感、国内電力不足等の懸念が加わり、回復基調への不安も残りました。

当社グループ関連の市場環境につきましては、自動車分野で緩やかな回復があるものの、パソコンや薄型テレビなどデジタル家電市場の低調、また、半導体業界の設備投資抑制など、依然厳しい状況が続いています。

このような背景のもと、当社グループは、新製品提案や新規顧客開拓など販売活動を進める一方、生産面では固定費の削減や生産効率の向上などに努めましたが、新製品が伸び悩み、前年実績を下回りました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は150億３百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は２億62百万円（前年同四半期比60.1%減）、経常利益は３億15百万円（前年同四半期比49.2%減）、四半期純利益は21百万円（前年同四半期比92.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連製品の出荷は堅調でしたが、新製品の伸びに勢いがなく、全体として売上げは前年を下回りました。

入力デバイスでは、自動車市場の需要回復により、自動車用のキーパッド及びタッチスイッチが順調に出荷を伸ばしましたが、携帯電話用キーパッドの需要が減少し、また、パソコン用のタッチパッドも伸び悩みました。ディスプレー関連デバイスでは、ＡＴＭ用の視野角制御フィルム（ＶＣ-Ｆｉｌｍ）は堅調でしたが、液晶テレビ用パッキン及びインターコネクターは減少しました。コンポーネント関連製品では、伸び基調の携帯電話向け防水製品が、顧客の生産調整の影響を受けました。

この結果、売上高は37億59百万円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント損失(営業損失)は47百万円（前年同四半期は66百万円の損失）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、ＯＡ機器用部品は堅調に推移し、また、半導体関連容器及びキャリアテープ関連製品も底は脱しましたが、全体としては前年を大きく下回りました。

半導体関連容器につきましては、半導体業界の生産調整が一巡したものの、低調な出荷で推移し、売上高、利益とも、震災に関連した受注で増加した前年を大きく下回りました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォン用及び車載用電装部品の用途が増加し、出荷は緩やかな回復となりました。ＯＡ機器用部品は、新興国需要を背景に、堅調に推移しました。シリコーンゴム成形品は、健康関連製品等が振るいませんでした。

この結果、売上高は56億33百万円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント利益(営業利益)は４億93百万円（前年同四半期比43.1%減）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、全体として売上げは前年を若干上回りましたが、原料コストや販売価格の動向などに影響を受けました。

ラッピングフィルムは堅調でしたが、他の包装資材で天候不順が影響し、出荷は前年並みとなりました。機能性コンパウンドは、自動車市場の生産回復により、順調な出荷が続きました。塩ビパイプ関連製品は、需要が低調となり、前年を下回りました。外装材関連製品は、荒天による需要増が加わるなど、ホームセンタールートを中心に旺盛な受注となりました。

この結果、売上高は45億26百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント損失(営業損失）は55百万円（前年同四半期は35百万円の損失）となりました。

④その他
工事関連事業では、商業施設の改装物件などの受注が堅調に推移しましたが、価格競争の影響がありました。
この結果、売上高は10億83百万円（前年同四半期比3.9%増）、セグメント損失(営業損失）は77百万円（前年同四半期は26百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)
当第１四半期連結会計期間末における総資産は813億40百万円（前連結会計年度末比３億23百万円の増加）となりました。これは、無形固定資産が４億55百万円、有形固定資産が４億35百万円それぞれ増加したこと、また、受取手形及び売掛金が３億88百万円、商品及び製品が２億22百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。
(負債)
当第１四半期連結会計期間末における負債は194億12百万円（前連結会計年度末比８億55百万円の減少）となりました。これは、流動負債のその他が預り金の増加などにより４億35百万円、未払費用が２億25百万円それぞれ増加したこと、また、仕入債務が13億63百万円、賞与引当金が２億93百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。
(純資産)
当第１四半期連結会計期間末における純資産は619億28百万円（前連結会計年度末比11億78百万円の増加）となりました。これは、為替換算調整勘定の増加15億46百万円、利益剰余金の減少３億44百万円などによるものであります。
なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.1ポイント増加し、75.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境としては、引き続き新興国の景気減速や欧米経済の停滞が懸念され、また、日本国内では電力不足や円高などの影響が残るなか、当社グループ関連の市場につきましては、依然として厳しい状況が続くものと思われます。
このような背景のもとで、当社グループといたしましては、市場環境の変化に的確かつスピーディに対応して、新製品の開発及び需要開拓、新興国の市場開拓に注力するとともに、コスト低減など収支改善にも努めてまいります。
これらを踏まえ、当期の連結業績予想は、売上高630億円、営業利益11億円、経常利益12億円、当期純利益４億円を見込んでおります。
なお、連結業績予想につきましては、本日（平成24年７月25日）別途「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」においても開示しております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ３百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,688	28,573
受取手形及び売掛金	18,746	18,358
商品及び製品	5,143	4,921
仕掛品	831	1,134
原材料及び貯蔵品	2,174	2,279
未収入金	1,215	1,113
繰延税金資産	559	473
その他	548	555
貸倒引当金	△123	△85
流動資産合計	57,786	57,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,347	7,426
機械装置及び運搬具（純額）	4,497	4,982
土地	6,129	6,162
建設仮勘定	1,019	806
その他（純額）	822	873
有形固定資産合計	19,816	20,251
無形固定資産		
ソフトウエア	117	109
その他	30	493
無形固定資産合計	148	603
投資その他の資産		
投資有価証券	1,194	1,098
繰延税金資産	1,122	1,102
その他	948	960
投資その他の資産合計	3,266	3,161
固定資産合計	23,231	24,016
資産合計	81,017	81,340

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,948	13,585
短期借入金	0	17
未払金	554	648
未払法人税等	184	213
未払費用	1,058	1,283
賞与引当金	708	415
役員賞与引当金	－	6
その他	520	955
流動負債合計	17,975	17,126
固定負債		
長期借入金	3	3
退職給付引当金	1,752	1,754
資産除去債務	183	184
その他	352	343
固定負債合計	2,291	2,285
負債合計	20,267	19,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,598	45,253
自己株式	△944	△944
株主資本合計	66,758	66,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	58
為替換算調整勘定	△7,017	△5,470
その他の包括利益累計額合計	△6,896	△5,412
新株予約権	248	248
少数株主持分	639	678
純資産合計	60,749	61,928
負債純資産合計	81,017	81,340

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	16,472	15,003
売上原価	12,124	11,245
売上総利益	4,347	3,758
販売費及び一般管理費	3,690	3,495
営業利益	657	262
営業外収益		
受取利息	24	44
貸倒引当金戻入額	12	38
その他	25	21
営業外収益合計	62	104
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	89	39
その他	0	4
営業外費用合計	99	51
経常利益	620	315
特別利益		
固定資産売却益	3	10
特別利益合計	3	10
特別損失		
固定資産除却損	2	0
会員権評価損	3	－
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	617	324
法人税、住民税及び事業税	140	158
法人税等調整額	178	146
法人税等合計	318	304
少数株主損益調整前四半期純利益	299	19
少数株主損失（△）	△1	△1
四半期純利益	300	21

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	299	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△62
為替換算調整勘定	975	1,587
その他の包括利益合計	952	1,524
四半期包括利益	1,251	1,544
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,231	1,505
少数株主に係る四半期包括利益	20	39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,206	6,797	4,425	15,429	1,042	16,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	4,206	6,797	4,425	15,429	1,042	16,472
セグメント利益又は損失（△）	△66	866	△35	764	△26	737

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	764
「その他」の区分の損失	△26
棚卸資産の調整額	△83
その他の調整額	3
四半期連結損益計算書の営業利益	657

当第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,759	5,633	4,526	13,920	1,083	15,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	3,759	5,633	4,526	13,920	1,083	15,003
セグメント利益又は損失（△）	△47	493	△55	390	△77	313

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	390
「その他」の区分の損失	△77
棚卸資産の調整額	△54
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	262

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。